

記者発表資料

令和7年度
三陸国道事務所の事業概要について

令和7年度 東北地方整備局 三陸国道事務所管内の事業概要をお知らせします。

令和7年 4月 1日

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

発表記者会：岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北建設専門紙記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 代表電話 (0193)62-1711

副所長(改築) ふかわたり よしあき 深渡 義哲 (内線 204)

副所長(管理) てらやま ゆうだい 寺山 雄大 (内線 205)

1. 令和7年度(2025年度)当初予算の概要

三陸国道事務所の令和7年度当初予算は下表のとおりとなっています。

「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「地方創生2.0に資する個性を生かした地域づくりと分散型国づくり」を3本柱として、令和6年度補正予算と合わせて、切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を図ります。

(単位:百万円)

事務所	区分	令和7年度 当初予算	令和6年度 補正予算	令和6年度 当初予算
三陸国道	国土交通省計上分	3,353	350	2,730

※当初予算額は、事業費を示す。

※事業費は、業務取扱費、維持管理費、交通安全事業(Ⅱ種)を除く。

2. 主な事業の概要

【新規事業箇所】

事業区分	事業名	市町村名	完成予定・開通 目標年度	R7事業費 (百万円)	R7主な事業内容
道路 直轄	国道45号 岩手45号交通安全対策 <small>たかほま</small> (高浜歩道・自転車通行空間整備)	みやこ 宮古市	—	15	調査設計
道路 直轄	国道45号 岩手45号交通安全対策 <small>ちからもち</small> (力持交差点改良)	ふだい 普代村	—	10	調査設計

【継続事業箇所】

事業区分	事業名	市町村名	完成予定・開通 目標年度	R7事業費 (百万円)	R7主な事業内容
道路 直轄	国道45号 <small>やまだ</small> 山田改良	やまだまち 山田町	—	480	調査設計、用地買収、改良工事
道路 直轄	国道45号 <small>さんりく</small> 三陸沿岸道路(侍浜～階上) <small>まわらいほま</small> <small>ほしかみ</small>	青森県三戸郡 ほしかみょう 階上町 ～岩手県久慈市	—	660	調査設計、支障物移転、改良・橋梁工事
道路 直轄	国道106号 <small>たぐりひきめ</small> 田鎖養目道路	みやこ 宮古市	—	1,370	調査設計、用地買収、改良・橋梁工事
道路 直轄	国道106号 <small>ほこいし たつそへ</small> 箱石達曾部道路	みやこ 宮古市	—	300	調査設計、用地買収
道路 直轄	国道45号 <small>かんばやし</small> 神林地区電線共同溝	みやこ 宮古市	—	162	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等含む)
道路 直轄	国道45号 <small>そけい</small> 磯鶏地区電線共同溝	みやこ 宮古市	—	135	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等含む)
道路 直轄	国道45号 <small>いしがき</small> 石崎地区電線共同溝	みやこ 宮古市	—	200	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等含む)
道路 直轄	国道45号 岩手45号交通安全対策 <small>しもあつか</small> (下安家地区歩道整備)	のだ 野田村	—	21	調査設計、用地買収

令和7年度 三陸国道事務所 事業箇所図



やまだ 国道45号 山田改良

R7:480百万円

継続

しもへい やまだまち
岩手県下閉伊郡山田町

道路

直轄

【事業の概要】

国道45号の防災上の隘路を回避するため、三陸沿岸道路の山田北ICに、北方向の乗り降りを整備することにより、災害時の道路ネットワーク機能の確保を目的とした事業です。



【整備効果】

防災上の隘路を抜本的に回避し、災害時においても救急搬送ルートを確認します。

大津波で寸断された国道45号 写真①



台風により冠水した国道45号 写真②



▲山田改良の整備状況

【令和7年度の事業内容】

調査設計、用地買収、改良工事を実施します。

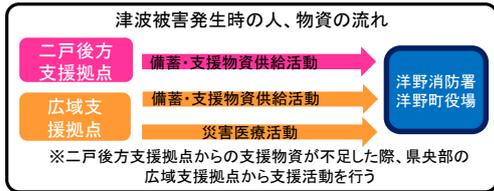
さんりく さむらいはま はしかみ 国道45号 三陸沿岸道路(侍浜～階上)		R7:660百万円 (岩手県分)	
継続	さんのへ はしかみちよう くじ 青森県三戸郡階上町～岩手県久慈市	道路	直轄

【事業の概要】
 三陸沿岸道路(侍浜～階上)は、八戸・久慈自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。



▲洋野種市ICの周辺状況

【整備効果】
 ○防災拠点への迅速な支援ルートが確保され、津波災害時の備蓄・支援物資供給活動及び、災害医療活動を支援します。



「岩手県広域防災拠点配置計画」(平成26年3月)により、二戸市を沿岸被災地の後方支援活動を行う拠点に位置づけ。物資が不足した場合及び、災害医療活動は県央部の広域支援拠点から支援活動を行う。

【令和7年度の事業内容】
 洋野種市ICの整備に向けて、調査設計、支障物移転、改良・橋梁工事を実施します。

国道106号 田鎖墓目道路

R7:1,370百万円

継続

岩手県宮古市田鎖～墓目

道路

直轄

【事業の概要】

国道106号 田鎖墓目道路は、宮古盛岡横断道路の一部を構成し、落石や土砂流出などの危険箇所を回避するとともに、災害時の通行止めによる広域迂回の解消を目的とする道路です。



【整備効果】

- 国道106号の落石や土砂流出などの危険箇所を回避し、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを確保します。
- 三次救急医療施設へのアクセス性向上により、救急搬送などの救急医療活動を支援します。



▲国道106号の被災状況(平成28年8月台風10号災害)



▲災害時の広域迂回の状況



▲田鎖墓目道路の整備状況

【令和7年度の事業内容】

調査設計、用地買収、改良・橋梁工事を実施します。

かんばやし
国道45号 神林地区電線共同溝

R7:162百万円

継続

岩手県宮古市藤の川～磯鶏一丁目

道路

直轄

神林地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。



出典：地理院地図に情報等を追記して掲載



▲国道45号の電柱状況

国道45号 岩手45号交通安全対策
 たかはま
 (高浜歩道・自転車通行空間整備)

R7:15百万円

新規

岩手県宮古市高浜

道路

直轄

当該箇所は、小中高生が利用する唯一の通学路であるが、未歩道区間や既設歩道が狭小なため、歩行者と自転車との接触や通学生と走行車両との接触が懸念されることから、安全かつ安心な通行空間の確保を図ります。



▲歩道幅員狭小区間を登下校する児童

ちからもち

国道45号 岩手45号交通安全対策(力持交差点改良)

R7:10百万円

新規

岩手県下閉伊郡普代村

道路

直轄

当該箇所は、下り坂のカーブ区間に位置する交差点であるため、走行車両からの見通しが悪く、右折待ちの車両に追突する危険があることから、新たに右折レーンを設置し、道路交通の安全確保を図ります。



▲見通しが悪く後続車両からの追突の危険がある状況

しもあつか

国道45号 岩手45号交通安全対策(下安家地区歩道整備)

R7:21百万円

継続

岩手県九戸郡野田村

道路

直轄

当該箇所は、寄宿舍から高校までの唯一の通学路であるが、未歩道区間であるため、通学時においては走行車両との接触が懸念されることから、新たに歩道を設置し、安全かつ安心な歩行空間の確保を図ります。



▲車道路肩を利用し通学する高校生

【その他】事務所の取り組み

【道路管理】 道路構造物の老朽化対策

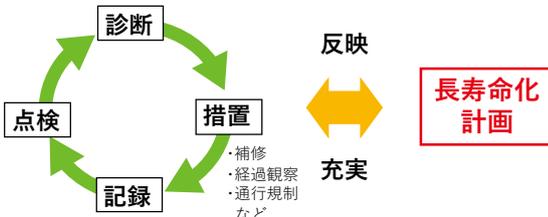
橋梁やトンネルなどの道路構造物は、建設後長期間を経過していることから、定期的な点検による健全度の把握と計画的な補修・補強を実施することで、構造物の長寿命化を推進します。

基本的な事項

- 予防的な保全を目指した維持管理
- 維持管理の頻度を定めた計画的な点検の実施
- 構造物の健全度を一定の尺度で診断
- 点検、診断、措置の記録作成など

メンテナンスサイクル

「点検⇒診断⇒措置⇒記録」の業務サイクルを通じて、予防的な保全を進めるメンテナンスサイクルを構築



5年に1回の点検に基づく長寿命化の取り組み

5年に1回の点検による健全度の把握、対策の要否を診断

長寿命化計画の策定

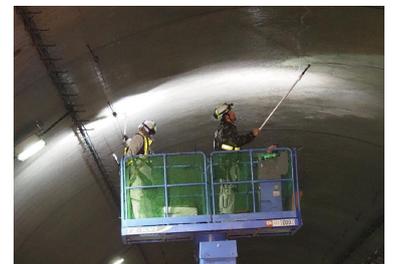
予算の確保

予防的な修繕等の実施

繰り返し



▲橋梁点検（点検支援技術）



▲トンネル点検（近接目視・打音検査）

【道路管理】 修繕・除雪

道路空間を良好に保ち、道路を快適で安全・安心に利用出来るよう努めていきます。



舗裝修繕



拡幅除雪

【交通安全】 休憩施設整備

三陸沿岸道路の津軽石PAにおいて、トイレの設置工事を推進し、三陸沿岸道路の休憩機能の充実を図ります。



▲供用中の三陸沿岸道路 津軽石PA（宮古市）